

「健康経営の推進に関する効果検証」 2019 年度版

私たちは地域及び職域の皆様の健康維持増進に貢献することを目的とする会社です。その職責を全うするためにも組織として、さらには従業員自ら健康維持増進活動に努めるよう会社として支援しています。

また、従業員の将来的な疾病リスクに対する予防や、健康の回復による欠勤率の低下、心身の充実、モチベーション向上による業務の効率化や生産性の向上に繋げるための様々な取組みを行っています。

【取組①】 地域清掃

ホスピタリティ委員会の主導で、月に一度、社内および会社周辺の清掃活動を行っています。普段は部署やフロアが異なる上司・部下でも、清掃活動中は趣味や流行の話などコミュニケーションが取れる場にもなっています。

【取組②】 同好会

職場以外での従業員の一体感を増すための取組として、家族・OB・OG 参加型の同好会（釣り、ゴルフ、ボーリング、ソフトボール）を設立。会社も各同好会へ積極的に支援しています。

【取組③】 創業祭

年に一度、従業員及び従業員の家族を対象にBBQとレクリエーション大会を行っています。レクリエーション大会では、異なる部署が同じチームになるように分かれ、チームごとで大縄跳びなど競い合い、積極的に体を動かしています。

結果、他部署とのコミュニケーションが図りやすくなることにより、個々のパフォーマンス向上にも繋がっています。

上記取組には過半数以上の従業員が積極的に参加しています。

取組	参加	不参加
地域清掃	51%	49%
同好会	56%	44%
創業祭	64%	36%

■従業員の生活習慣への予防について

従業員がいつまでも健康で長く勤めてもらうための環境の場を各取組のように積極的に設け、会社としても支援しています。また、取組を通じ従業員ひとり一人が生活習慣病予防への意識を高め努力しています。結果、各取組へ積極的に参加している人ほどBMI 数値等の正常者率が向上しました。

取組	参加		不参加	
	2018	2017	2018	2017
BMI（正常者率）	65%	63%	70%	89%

(BMI：体重と身長の関係から算出される、肥満度を表す体格指数です)

また、デスクワークに従事している従業員が多く、健康診断において自覚症状（腰痛）を訴える従業員が77%いたことから、健康保険者（協会けんぽ 大阪支部）の協力を得て、従業員向けセミナー（肩こり、腰痛改善）を実施しました。その結果、自覚症状が71%に減少しました。

■従業員の生産性向上について

従業員が限られた時間の中で生産性の高い働き方を実現するために、異なる部署とコミュニケーションが図りやすいよう、様々な取組をし、環境を整えています。

結果、不参加の従業員は、有給休暇取得率及び時間外月平均労働時間が悪化しているのに対し参加している従業員は、有給休暇取得率及び時間外月平均労働時間が改善していることから、各取組に参加している従業員ほど健康意識が高く、生産性の向上につながっていることが確認できました。

取組	参加			不参加		
	2018	2017	前年比率	2018	2017	前年比率
有給休暇取得率	20%	17%	117.6%	29%	28%	103.5%
時間外月平均労働時間	13 時間	14 時間	92.8%	11 時間	10 時間	110.0%

また、営業利益率がアップしていることから、以前より限られた時間の中で生産性の高い働き方が出来ていることがわかりました。

年度	2018	2017
営業利益率	5%	4%